

## プログラムの信条

アメリカン大学 TESOL プログラムは、優れた英語教師養成には言語学の知識と教授法の知識が必要だという信条のもとに成り立っていますが、どちらかといえば教授法のほうにより重きを置いています。在籍する学生たちが、卒業後、今日の英語教育の世界で仕事をこなせるように教育と訓練をほどこすことを目指しています。

優れた教師を育てること、良質の授業ができるようにすること、このふたつがアメリカン大学 TESOL プログラムの主要目標です。研究を理解するため、研究に携わるための道具を学生に与えることの重要性はもちろん無視していませんが、このプログラムの目的は研究者ではなく教師を育てることです。実際、もし主な関心が応用言語学の研究にあるのならば、すぐそばにあるジョージタウン大学にはとてもいいプログラムがあります。

アメリカン大学 TESOL プログラムは、理論を実践に移すこと、それから経験学習を重視しています。この経験学習は、われわれの教授法のクラス、「英語教授法3」などでの実地経験課題や、学生たちが学んだことを実際の教室に直接応用してみるプロジェクトなどの形で強調されています。

教授法に関しては、アメリカン大学 TESOL プログラムはコミュニケーション・ティーチングを強く支持しています（上記参照）。

加えて、アメリカン大学 TESOL プログラムは言語活動の行われる一連の流れを重視した語学教育を目指しています。ジェイムズ・ポール・ジーのいうところによれば、われわれはただ言語を教えているのではなく、「言語とその他もろもろ」（たとえば、言葉には表れない身振り手振りや、当たり前だと思っている習慣や、どのようにして言語を学び、それを学んだ成果を示すかということに対する考え方などを）を教えているのです。

最後に、アメリカン大学 TESOL プログラムは「学習者を中心とした教室活動」を強く支持しています。すなわち、その学生特有のニーズに合わせたカリキュラム作りや教室の雰囲気を作っていくことです。そして、何を学ばなければならないか、ということだけでなく、どうしたらいちばん効果的・効率的に学べるのかということにも注意を払うということです。

## ワシントン DC で学ぶということ

ワシントン DC は TESOL を学ぶ学生にとって研究・教育両方の機会に恵まれています。応用言語学研究所、国立バイリンガル教育情報センター、国立識字教育情報センター、国立 TESOL 教育者協会などは皆ワシントン DC 近隣にあります。国会図書館や、ワシントン DC 地区大学コンソーシアムの七つの図書館を利用することもできます。国際的活動の機会にも恵まれていて、世

界各国の大使館がワシントン DC にあるのに加え、外務職員 局や世界銀行本社、平和部隊などもみなこの地域に集中しています。こうしたものが、ワシントン DC 内の博物館や文化的・歴史的・政治的情報源とともに利用できるのです。

## インターンシップと個別指導

アメリカン大学 TESOL プログラムは、インターンシップと個別指導の機会を常に重視してきました。上で述べられているように、研究・教育業界でのインターンシップの機会はワシントン DC には豊富にあります。国際的にも、つながりのあるインターンシップ先は豊富にあり、もし学生がアメリカ国外でのインターンシップを希望していて、どこか希望の国がある場合、たいいてい、インターンシップ先を見つけることができます。

## アメリカン大学 TESOL プログラムという共同体

アメリカン大学 TESOL プログラムはひとつの共同体、仲間や TESOL の専門家たちの共同体です。学生と教員は親しく、なんでも率直に話し合いますし、その話題も多岐にわたります。教員たちは学生を同僚として受け入れ、たとえ、現在教師となるための勉強中の学生であっても同僚として扱います。TESOL の授業では、教師という職にまつわるふるまいや活動のモデルを見ることが、知識を伝えることと同じくらい重要視されているのです。

アメリカン大学 TESOL プログラムには、この共同体を支えている複数の活動があります。定期的に行われるワークショップや発表の場もそのひとつです。歓迎会は毎学期開かれます。毎年行われる秋のワークショップや春の学会は学生たちに自分たちの研究を発表する機会を与えますし、**Meeting of the Minds** と呼ばれるフォーラムは教員と学生とが集まって、このプログラムの方向性を決めていくための毎春の集まりです。加えて、プログラムのホームページ、毎月発行される『TESOL Update』というニュースレター、二種類のメーリングリストがあります。

## 留学生によくある質問

二〇〇一年九月十一日の悲劇的な事件を受けて、移民法の多くが変わることになりました。現在アメリカン大学に在籍している留学生は、この法律の変化がどう自分に影響するのか確認してください。 [HERE](#)

アメリカの大学への応募一般に関する情報、またはアメリカン大学に関する情報に関しては留学生課のホームページを参照してください。 [Office of International Student Services](#).

**学業に関する入学許可の条件はなんですか？**過去の学業成績の平均値が三.〇以上であること、TOEFLのスコアがペーパーテストで六〇〇点以上、コンピューターテストで二五〇点以上、インターネットテストで一〇〇点以上であることです。TESOL修士課程に応募する場合にはGREのスコアも必要です。

TOEFLのスコアがペーパーテストで六〇〇点以上、コンピューターテストで二五〇点以上、インターネットテストで一〇〇点以上ない場合はどうなりますか？学生の英語力は必須条件です。ですから、アメリカン大学は上記の条件を設置しているのです。

**I-20とビザを取得するために必要な書類はなんですか？**

**I-20取得に必要な書類**

- 記入済みのアメリカン大学への出願書、小論文、及び推薦状二通
- 記入済みの個人移民情報申請書 (PIIRF)
- 大学発行の学業成績証明書 (大学から直送すること)
- TOEFLのスコア証明書
- 少なくとも一年分の学費・生活費をまかなえる (39,808ドル以上) ことを証明する財政証明書

F-1ビザ取得のための必要書類 (注意: 国内のアメリカ大使館に確認をとってください。大使館によってビザ応募の手順はかわってきます。多くの大使館で事前に予約をとることが必要となっています。アメリカ大使館のホームページにビザ取得のための情報が網羅されています) [US Embassy](#)

- 有効期限の切れていないI-20もしくはIAP-66
- 大学の留学生課によるサイン (サイン有効期間がアメリカ合衆国への出入国時期をカバーしていること)
- 有効期限の切れていないパスポート
- 少なくとも一年分の学費・生活費をまかなえるという財政証明書 (過去三ヶ月以内に発行されたもの)
- 大学発行の学業成績証明書、秋学期の授業の事前登録証明
- INSに関わる法律が変わったため、TESOL修士課程へ入学希望の学生も、TESOL修士課程へ入学希望の学生同様、志望の動機についての小論文が必要です。この小論文は、ふつう二、三ページほどの長さです。

注意: TESOLプログラムは移民法に関する専門家というわけではありません。この件に関する正確な情報はアメリカン大学の留学生課に問い合わせてください。 [International Student Services Office](#)

**選考の手順はどのように進んでいきますか？**

(1) 出願書に記入し、小論文と推薦状を手順に従って用意してください。出願費用が支払われないと選考手続は進みません（過去四年間、アメリカン大学TESOLプログラムは学費を免除したことはありません）。ビザ応募のための必要書類を整えてください（上記参照）。

(2) 出願書類はアメリカン大学のコンピューターシステムによってスキャンされ、専門家が学業成績の平均を吟味し、すべての必要書類が整っているかどうか確認します。

(3) 必要書類がすべて整っていることが確認されると、それぞれの学部や学科に送られ、教授陣がそれぞれのプログラムに受け入れるか受け入れないかを決定します。この決定は通常二、三日で下されることが多いです。

(4) それぞれの学部や学科で決定が下されると、その結果を知らせる手紙が郵送されます。入学を許可されるか拒否されるかです。もし入学を拒否された場合は、そのあと一年間は再考されることはありません。

(5) 入学許可の手紙が届いた場合、入学するという意向を伝えなければI-20は届きません。

(6) I-20が届いたら、国内のアメリカ大使館か領事館に予約を入れ、F-1ビザを発行してもらってください。

**出願締め切りはいつですか？** 学業成績優秀者のための学士援助に応募したい場合は、入学を希望する年の二月一日まで（秋入学の場合）に出願してください。春入学の場合は十一月一日までです。夏入学の学生対象の奨学金はめったにありません。学業成績優秀者のための学士援助に応募しない場合も、希望の入学時期の少なくとも三ヶ月前までに出席してください。

**選考にはどのくらいの時間がかかりますか？** これは出願者によるところが大きいです。出願書類がすべて整っていて、成績証明書などがちゃんと届いていれば、選考にかかる時間は二週間くらいでしょう。それぞれのプログラムでの選考にかかる時間は二、三日というところですから、選考後、二、三週間ほどで結果を知らせる手紙が届きます。アメリカ合衆国への留学を希望する留学生は、九ヶ月から一年くらい前から出願準備を始めることが勧められています（これにはTOEFLの受験、成績証明書の発行・郵送、銀行の残高証明発行、領事館に予約をいれる時間などが含まれています）。

**アメリカン大学TESOLプログラムで勉強するのにどのくらいの費用がかかりますか？** 二〇〇七年度秋学期以降、大学院レベルの授業料は一単位につき、一一一ドルです。つまり、三単位の授業をひとつとれば三、三三三ドルかかるということです。TESOL修士課程を修了するには三十六単位必要です。

**どんな学資援助がありますか？** 教育省により貸与される学生ローンは残念ながら留学生には適用されません。しかし、アメリカン大学には成績優秀者のための学資援助があり、あらゆる形で奨学金が与えられます。たとえば、リサーチ・アシスタントやティーチング・アシスタントとして働くチャンスが与えられたり、研究助成金や奨学金が与えられることもあります。したがって、成績優秀者学資援助授与者として学期始めに選ばれない限り、その時点での大学からの奨学金のチャンスはないということです。成績優秀者のための学資援助は通常学位取得希望者へのみチャンスが与えられるので、学位取得課程ではないTESOL修士課程取得希望者には学資援助のチャンスはほとんどないということになります。

注意：より詳しい学資援助情報については、学資援助の項目を参照してください。 [Financial Aid](#).

アメリカン大学以外のスポンサーから授与される奨学金を受けている学生もいます。そうした奨学金に関する情報を得るためのホームページとして以下のものがあります。

[Fast Web](#)  
[SRNexpress](#)

**学資援助にはどのようにして応募するのですか？**大学院出願書の項目番号二十五番のYESの欄にチェックをいれるだけです。これで自動的に、応募資格のあるあらゆるタイプの学資援助に申し込むこととなります。留学生はアメリカ人学生が申し込めるすべての学資援助に応募する資格があります。Hall of Nations Awards という留学生のための奨学金にも申し込むこととなります。

**学資援助を受けられる可能性はどのくらいありますか？**過去四年間、毎年TESOLプログラムの一人から三人ほどの学生が大きな学資援助を受けています。学業成績優秀者のための学資援助の主な選考基準は応募者の学業成績平均値によります。したがって、競争率は非常に高いです。

**学資援助はどのくらいの額が支給されますか？**過去四年間でTESOLプログラムの学生が受けた学資援助のなかでは、授業料全額免除というのが最大です。したがって、TESOLプログラムの学生が受けた学資援助ではすべての出費はまかなえないということです。アメリカン大学で勉強するため、つまり教科書代や食費、家賃、旅行費、その他諸々の出費をまかなうためにはその他の資金源が必要になるということです。

大きな額の奨学金は通常秋入学の学生に割り当てられます。三、六、九単位分の授業料免除という少額の奨学金が春入学の学生に割り当てられることもときどきあります。アメリカン大学は通常、成績優秀者奨学金を新生に割り当てるようにしているので、一旦アメリカン大学での勉強を始めたら、それ以後また成績優秀者のための学資援助の選考対象となることはまずありません。

**帰国したら小・中・高等学校で働くつもりです。その場合、MAT:ESOL課程に入るべきですか？**いいえ。MAT:ESOL課程はアメリカ国内の公立学校で教えるための基準を満たすようカリキュラムが組まれています。TESOL修士課程もMAT:ESOL課程も基本的には同じ構造ですし、対象とする学生のレベルに応じて授業が履修できるような仕組みになっています。世界中の小・中・高等学校教育の発達と足並みをそろえられるよう、教授陣は最善を尽くしてカリキュラム開発にとりかかっていますし、学生がアメリカン大学TESOLプログラムで学んだことを卒業後きちんと生かせるようサポートします。

**留学生でも国際修士課程に入ることはできますか？**いいえ、国際修士課程はアメリカ合衆国連邦政府機関の平和部隊との提携プログラムです。ですから、国際修士課程の学生はアメリカ市民でなければなりません。

**プログラムを卒業後、アメリカに残って教えることはできますか？**「プラクティカル・トレーニング」に応募することは可能です。これは、ある条件の下でなら、卒業の日から最長一年間学業ではなく職業上の経験を積むためにはアメリカに残ってもいいというシステムです。プラクティカル・トレーニングの詳細については留学生課に問い合わせてください。 [International Student Services site](#)

**留学生の出願時に伴う、よくある問題はなんですか？**いちばん大きな問題は住所の変更かもしれません。出願するとき出願書類に記入する住所が、最低一年間くらいは大学からの手紙がちゃんと届く所

にしておいてください。別の問題は、必要書類が紛失してしまうことです（成績証明書やTOEFLのスコア証明書、財政証明書など）。それから、アメリカの私立大学で勉強するということがどのくらいの費用を要することなのか、よくわかっていない学生がいることもあります。すべての出願手続きを終え、入学許可がおりたというのに、ここにやってくる経済的手段がないことに気づいた、という学生もいます。最後にひとつアドバイスは、定期的にチェックしているEメールアドレスがあると、出願手続きがスムーズに進むだろうということです。

### 授業で優秀な成績を治めるためには何が必要ですか？

あるトピックについてかなり長さのある論文や章を五、六本読みこなし、内容をまとめられること、それが自分にとってどんな意味をもつのか説明できることが必要です。

授業に積極的に参加してください。そうすることによって、教授にはあなたが学んだことがわかりますし、クラスメートを助けることもできます。グループワークの際にはこれが特に重要です。

大学図書館の使い方をよくわかっておくことも必要です。インターネットを使って検索し、自分の興味のあるトピックについて、よく知られた学者によって書かれた論文を見つける、というようなことです。

学術論文を書ける能力も必要です。適切な引用の仕方を知っていて、データを集めて分析し、説得力ある解釈ができるかということです。TESOLの専門家であるということは高いライティング能力をもっているということでもあります。学生をサポートするため、アメリカン大学TESOLプログラムは「アメリカン大学TESOLプログラムスタイルシート」という、大学院生の論文執筆のための引用の仕方を手ほどきした説明書を配っています。McKinleyの156にあればもらえます。

定期的に教授やクラスメートと交流の場をもつことも必要です。ふだんよりもう少し率直になる必要があることに気がつくかもしれません。物事をはっきり言うアメリカ人が多いですから、率直に言わなければあなたのかかえている問題に気がつかないかもしれません。後になってから、助けが必要だったのに助けを求めなかった、と知られるよりも、助けが必要だということを認めることのほうがずっと恥ずかしくありません。

ユーモアの精神をもちましょう。自分のことを好きになって、間違いを犯しても自分を許してあげましょう。人間ですから間違えます。

最後に、第二言語というベールを通して勉強し、アメリカ人の学生と張り合わねばならない留学生として、たぶんほかのアメリカ人の学生より少し余分に課題に時間をかけねばならないでしょう。これは不公平に見えるかもしれませんが、一方で、留学生なのだからあまり期待しないというのでは、ダブルスタンダードをもうけていることになり、これではなおいっそう不公平です。

## その他の情報についてのリンク

住居に関する情報についてはこちらのリンクを参照ください。

<http://www.american.edu/ocl/housing/index1.html>

[www.ishdc.org](http://www.ishdc.org).

**International Student House** というのは Dupont Circle (アメリカン大学のキャンパスから十分ほどのところにあります。地下鉄でいくこともできます) 近くの住居を海外からやってきた学生や学者、インターンに紹介してくれる非営利団体です。この団体は学生に短期・長期にわたる住居を紹介してくれるほか、さまざまな交流の場を提供しています。詳細な情報、費用などについてはこの団体のホームページを参照してください。

なお、International Student House はアメリカン大学とは関係ありません。

**International and Multilingual Students: Academic Support Resources.** International and multilingual students can find support for their studies through a variety of campus resources, ranging from academic tutoring to assistance with cultural adjustment. For more information, go to the Academic Support Center's Web page:

[www.american.edu/ocl/asc/intnat\\_students.html](http://www.american.edu/ocl/asc/intnat_students.html)

[TESOL Links page](#).

**留学生及び多言語話者の学生のための勉学支援情報**

留学生や多言語話者の学生むけの様々なサポートサービスが大学のキャンパス内で利用可能です。ある学科についての個人指導やアメリカ文化になじむためのサポートなどがあります。詳しい情報についてはアカデミック・サポート・センターのホームページを参照してください。

TESOLという専門職に関してのその他の情報についてはTESOLリンクをクリックしてください。

わからないことがあったら、遠慮なくTESOLプログラムか留学生課にメールしてください。

**Contact TESOL:** [tesol@american.edu](mailto:tesol@american.edu) **International Student Services:** [iss@american.edu](mailto:iss@american.edu).